

障害者就業・生活支援センター はぎの

- 所在地：日田市淡窓1丁目68-3
- 運営主体：社会福祉法人大分県社会福祉事業団
- TEL：0973-24-2451
- 支援体制：就業支援ワーカー2人 生活支援ワーカー1人
- 指 定：大分県
- 沿 革：2006年開設



障害者就業・生活支援センター はぎのとは

主に日田市、玖珠町、九重町を中心に、地域で生活している障がい者の就職に関する相談を受け、関係機関と連携しながら、就業面、生活面などの支援をしている。

障がい者に対する支援

■ 就業面での支援

求職者には職場探し、面接への同行、働くうえでの悩み相談、問題解決の手伝いなどを行っている。仕事に就いた場合にはジョブコーチの派遣を依頼し、作業指導や事業所へのアドバイスを通じて、職場に定着できるように支援するほか、センターのスタッフもジョブコーチ的に職場を訪問し、雇用主とのさまざまな調整をしている。

■ 生活面での支援

就労には日常の生活面の影響が大きく、生活面の問題が仕事に影響する場合がある。生活支援が必要な人にはホームヘルパーや作業訓練など福祉サービスの紹介をし、異性や、金銭問題などのトラブル解決の支援をすることもある。また、各種制度利用の申請手続きについても支援している。

企業に対する支援

企業などに出向いて、障がい者雇用について説明をするほか、障がい者の雇用を考えている事業所や既に障がい者を雇用している事業所からの相談にも応じている。

助成金制度や業務管理についてのアドバイスや、雇用されている障がい者についてより理解してもらえるよう、大まかな障がいの特性と本人の特性などの説明を行っている。

就業支援のプロセス(成功事例)

1 CASE

就労を希望しながら、働くことについての準備ができていない人には、出勤時間と仮定して毎朝8時30分から同センターで事前学習を行っている。

毎回30分程度、何のために就職するか、就業中に気をつけること、あいさつや報告連絡の仕方などをワーカーと話すほか、作文にすることで本人の意識付けにつなげている。これまでに知的障がい者4人を指導し、2人の就職につながった。

2 CASE

養護学校の在学中からのつながりを作ることで、学校からセンターへとスムーズに支援体制をバトンタッチできるようになった。

生徒と保護者、教諭で話し合う進路面接にワーカーが同席したり、生徒やPTAの会で就業についての話をするなど、関係作りを進めた。支援した養護学校高等部で就職を希望する生徒は、ほぼ就職先が決まった。

担当者コメント

就業支援ワーカー 穴井 靖彦さん

働くことは皆に与えられた権利だと思います。事業所の方に理解していただき、就業のチャンスがもっと広がればいいと思っています。障がい者の中にも、十分働ける人がたくさんいることを知ってもらい、一緒に働いてみることからスタートしてほしいと思います。